

県営水道における指定管理業務のモニタリング評価結果について

1 要旨

県営水道における指定管理者制度導入施設について、毎月の報告書や実地の立ち入りによりモニタリングを実施している。この度、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務が終了したため、業務の実施状況について評価を行った。

2 評価結果

(1) 広島西部地域水道用水供給水道（第2期4年目）

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道	
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目 H30.4.1 ~ R5.3.31
評価期間		令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）	
総評		A	S：優良（要求水準以上の取組を実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）
業務履行状況	項目	評価	評価内容
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。故障等臨時修繕への対応も適正に実施されている。
	6 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。
品質向上等に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> 臭気の発生抑制のため、原水濁度に応じた汚泥の排出時間の調整や、沈殿池清掃時における活性炭の注入等の取組を行った。 	
提案項目への取組		<ul style="list-style-type: none"> 小型実験施設（ミニ沈殿池）を設置し、遮光ネットによる藻類等の発生抑制対策の効果検証を行い、藻類等の減少効果があったことを確認した。 令和2年9月に開始した白ヶ瀬・三ツ石両浄水場間の双方向監視体制の体制を強化するため、監視カメラの増設等を行った。 水運用を止めずに効率的な堆積物調査を実施するため、弥栄ダム取水口の点検に水中カメラロボットを活用した。 薬品注入の自動化システムの構築に向け、AIを活用した自動化の実証実験を実施し、導入に向けて問題がないことを確認した。 	
その他（課題、要望事項等）		<ul style="list-style-type: none"> 浄水場間における双方向監視体制の強化や水中カメラロボットの活用、藻類等の発生抑制等に取り組んでおり、引き続きDXを推進し、更なる業務効率化を図ること。 	

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取組を実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある

(2) 沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道（第2期2年目）

対象業務		沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道		
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目	R2.4.1 ~ R5.3.31
評価期間		令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）		
総評		A	S：優良（要求水準以上の取組を実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）	
業務履行状況	項目	評価	評価内容	
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。	
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。	
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。	
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。	
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。故障等臨時修繕への対応も適正に実施されている。	
	6 その他	○	清掃，環境衛生管理，地域貢献等が実施されている。	
品質向上等に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> 宮浦浄水場において，ろ過閉塞を抑制するため，ろ過池排水を着水井に返送し，原水濁度を低下させる配管工事を実施した。 		
提案項目への取組		<ul style="list-style-type: none"> ポータブル界面計を活用して沈殿池等の堆積量を把握し，汚泥の状況に応じた効率的な脱水機運転を実施した。 各加圧ポンプ所において，機器の振動を計測する振動診断システムを導入し，振動データに基づく機器の保全を行った。 濁度上昇の要因となる微生物の発生を抑制するため，水ing(株)と連携して高分子凝集剤による微生物増殖の抑制効果を検証した。 		
その他 (課題，要望事項等)		<ul style="list-style-type: none"> 振動診断システムによる加圧ポンプの状態監視や配水返送管の取付等に取り組んでおり，引き続きDXを推進し，更なる業務効率化を図ること。 		

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取組を実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある